

4. 新聞等に掲載された活動

○組織解剖学（解剖学第三）

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
小路武彦・教授	地域イノベーション戦略支援プログラム	長崎新聞	2013年2月23日	地域の強みを生かした健康、医療福祉分野での新産業創出を目的とした県内企業、大学、高専、行政、金融機関が連携して行う地域イノベーション戦略支援プログラムの推進報告会に於いて事業の全体構想について行った説明が掲載された。

○神経生理学（生理学第二）

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
篠原一之・教授	マザリーズについて	中日新聞	2013年9月24日	マザリーズ（親が赤ちゃんに対してゆっくりと抑揚のある独特の話し方）に関しての必要性について

○微生物学（感染分子学）

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
新 竜一郎・准教授	運動技術の学習に関する「プリオンタンパク質」	長崎新聞	2013.4.9	動物の体内にあり、異常が起きると神経障害の難病を引き起こす「プリオンタンパク質」が、運動技術の学習に重要な役割を果たしていることを、長崎大と徳島文理大などの共同研究グループが突き止めた。

○医療情報学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本武浩・准教授	あじさいネット	長崎新聞	20130402	「医療の質向上へ情報共有」
松本武浩・准教授	あじさいネット	長崎新聞	20130509	あじさいネット研究会発表内容の紹介
松本武浩・准教授	あじさいネット	長崎新聞	20130512	あじさいネット研究会発表内容の紹介
松本武浩・准教授	あじさいネット	朝日新聞	20130702	「患者の情報①」あじさいネット紹介 地域医療 I C T ネットワークの価値の解説
松本武浩・准教授	あじさいネット	長崎新聞	20130707	日本ホスピス・在宅ケア研究会におけるあじさいネットの紹介
松本武浩・准教授	あじさいネット	読売新聞	20130804	レセプト共有 あじさいネットの価値について
松本武浩・准教授	あじさいネット	m 3 . c o m	20130804	「IT が変わる、医師が変わる_進化し続ける、長崎あじさいネット」 あじさいネットの概要と展望の紹介
松本武浩・准教授	あじさいネット	熊本日日新聞	20131029	「ICT から見えること」ICT を使った医療連携の価値の紹介

○地域医療学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
------	------	-------	-------	----------------

前田隆浩・教授	地域で医療人を育む I ～大学を出て地域 で医師を育む～	Medical forum CHUGAI	2013年 Vol.17	地域医療教育を取り巻く最近の動き・地 域医療教育の取組について掲載された。
---------	------------------------------------	-------------------------	-----------------	--

○内科学第一

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
中村龍文・准教授	HAMに有望治療薬	西日本新聞	2013年 8月15日	HAMにビタミン欠乏症薬が効果的
中村龍文・准教授	神経難病のHAM 経口ビタミン剤有効	長崎新聞	2013年 8月21日	HAMに「プロスルチアミン」が有効
宇佐俊郎・講師	先人を訪ねて「永井 隆」	読売新聞	2013年 3月23日	永井隆記念国際ヒバクシャ医療センタ ーが行っている国内外での活動を概説 した
一瀬邦弘・助教	ベーチェット病の病 状と病型	長崎新聞	2013年 12月2日	ベーチェット病の紹介と最新治療の説 明を行い早期発見治療の重要性を啓蒙 した

○内科学第二

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
河野 茂・教授	うず潮「健康長寿 急 いで回れ」	長崎新聞	2013/1/4	健康長寿に関する新聞への寄稿
河野 茂・教授	うず潮「長引く咳」	長崎新聞	2013/2/3	長引く咳の注意点などについて新聞へ の寄稿
河野 茂・教授	うず潮「趣味と健康」	長崎新聞	2013/3/10	趣味と健康の関連性についての新聞へ の寄稿
河野 茂・教授	150周年展示コーナー	新聞・テレビ	2013/5/2	長崎大学病院開院 150周年を記念した 展示コーナーに関するインタビュー
河野 茂・教授	急性期パートナーシ ップ	新聞・テレビ	2013/6/29	長崎大学病院が取り組んでいる急性期 パートナーシップについての記者会見
河野 茂・教授	細胞シート空輸移植 成功	新聞・テレビ	2013/7/17	取り扱いが難しい細胞シートを空輸し 移植に成功した事例の紹介
河野 茂・教授	高齢者は肺炎に注意 を	長崎新聞	2013/11/4	高齢者肺炎の注意点についてのインタ ビュー記事
河野 茂・教授	高齢者の肺炎予防	朝日新聞	2013/12/9	高齢者肺炎の予防方法についてのイン タビュー記事
河野 茂・教授	肺炎死因の第3位	長崎新聞	2013/12/21	肺炎の危険性に関する啓発
松瀬厚人・准教授	感染症 TODAY「咳嗽に 関するガイドライン 第2版のポイント」	ラジオ Nikkei	2013/6/5	改訂された咳嗽に関するガイドライン について解説した。
松瀬厚人・准教授	アレルギー談話室「カ ビとアレルギー」	KBC（九州朝日 放送）ラジオ	2013/7/14	真菌とアレルギーの関連について解説 した。
松瀬厚人・准教授	アレルギー談話室「喘 息の増悪因子」	KBC（九州朝日 放送）ラジオ	2013/10/20	喘息の増悪因子について解説した。
泉川公一・講師	疫学研究	朝日新聞	2013/6/5	重症熱性血小板減少症のヒトにおける 疫学研究をおこない、抗体の有無につい て検討する。公衆衛生上、有用である。
石松祐二・講師	KTN スーパーニュース 「PM2.5について」	KTN	2013/3/19	PM2.5の健康に関する影響について解説 した。

○消化器内科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
中尾一彦・教授 竹島史直・准教授	酸関連疾患の課題と ネキシウムの役割	Medical Tribune	2013年 1月10日	座談会：酸関連疾患の変遷と問題点、新 規薬剤に関して
磯本 一・准教授 山口直之・助教	手術数でわかるいい 病院 食道がん内視 鏡治療	週刊朝日 MOOK	2013年 3月10日	食道がん内視鏡治療が全国でトップレ ベルの評価（23位）
南 ひとみ・助教	食道アカシアの内 視鏡治療	週間健康 マガジン	2013年 4月5日	食道アカシアの新たな内視鏡治療に ついて解説した。
柴田英貴・助教	食道・胃静脈瘤の内視 鏡治療	週間健康 マガジン	2013年 4月12日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。
磯本 一・准教授	ヘリコバクター・ピロ リ感染症	ラジオ NIKKEI	2013年 4月17日	医療専門番組「感染症 TODAY」に出演。
山口直之・助教	早期食道癌・早期胃癌 の内視鏡治療	週間健康 マガジン	2013年 4月19日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。
大仁田 賢・講師	大腸腫瘍の内視鏡治 療	週間健康 マガジン	2013年 4月26日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。
竹島史直・准教授	クローン病 生活の質阻害/患者数 は増加	長崎新聞	2013年 5月	クローン病の現状についてわかりやす く解説した。
本田琢也・助教	健康コーナー“がん告 知”について	NBC あっぷる	2013年 6月28日	生活に大きな影響を与える“がん”につ いて、告知とその後のケアについての取 り組みについて解説した。
中尾一彦・教授 山口直之・助教	再生粘膜を空輸 患 者に移植	NHK	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
磯本 一・准教授 山口直之・助教	細胞シート空輸 長大病院が移植手術 に成功	KTN	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
山口直之・助教	細胞シート空輸し移 植 地方の再生医療 に一步	長崎新聞 47NEWS	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
山口直之・助教	地方で再生医療享受 「細胞シート」空輸移 植成功 細胞シート空輸し移 植 世界初、消化器系 手術で	長崎新聞	2013年 7月17日	細胞シート移植についての記者会見。
磯本 一・准教授	胃の中をクリーンに して胃癌予防	朝日新聞	2013年 7月27日	ピロリ菌の除菌治療について掲載され た。
磯本 一・准教授	ピロリ菌とは	KTN	2013年 8月2日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。
赤澤祐子・助教	ピロリ菌がおこす疾 患 その1～胃炎、潰 瘍～	週間健康 マガジン	2013年 8月9日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。
松島加代子・助教	ピロリ菌がおこす疾 患 その2～リンパ 腫、胃癌～	週間健康 マガジン	2013年 8月16日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジ ン」に出演。

竹島史直・准教授	ピロリ菌の除菌	週間健康 マガジン	2013年 8月23日	ヘリコバクターピロリ除菌療法についてわかりやすく解説した。
磯本 一・准教授	ピロリ菌の除菌療法と発がん予防	週間健康 マガジン	2013年 8月30日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」に出演。
山口直之・助教	食道細胞シート移植	報道特集 NBC	2013年 9月13日	食道癌治療と再生医学
中尾一彦・教授 磯本 一・准教授 山口直之・助教	食道がんの患部切除し「細胞シート」貼りつける 異例の「細胞」のみ空輸 地方で先進医療を受診	財界九州	2013年 10月	食道癌治療と再生医学
中尾一彦・教授 磯本 一・准教授	H.pylori 感染の早期診断と適切な除菌療法	大塚製薬(株) 広告	2013年 11月	ピロリ菌除菌の啓蒙
中尾一彦・教授	C型肝炎治療におけるシメプレビルを用いた3剤併用療法への期待～九州の地域特性を踏まえた治療戦略～	Medical Tribune	2013年 12月26日	座談会：C型肝炎治療におけるシメプレビルを用いた3剤併用療法への期待

○循環器内科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前村浩二・教授	劇的に治るのが循環器の魅力	九州医事新報	2013年2月20日	循環器診療の魅力について紹介
前村浩二・教授	心筋梗塞	長崎新聞	2013年11月2日	心筋梗塞についての啓蒙活動と、長崎県の緊急医療体制について紹介

○精神神経科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
小澤寛樹・教授	海外勤務者の精神医学(上海メンタルクライシス)	日経ビジネス	2013/4/15	海外勤務者の心のケアに関する情報が医療新世紀メディカルニュースに掲載された
小澤寛樹・教授	海外勤務者の精神医学	長崎新聞47ニュース(全国各新聞社)	2013/5/07	海外勤務者の心のケアに関する情報が47ニュースに掲載された
小澤寛樹・教授	日本仮ビジネスマンのメンタル危機について	NHK 長崎	2013/11/28	NHK 長崎放送局 見んと長崎で「日本人ビジネスマンのメンタル危機を救え」と題し放送された
小澤寛樹・教授	認知症について	NHK 長崎	2014/2/11	「認知症時代 長崎で認知症になったら」が放送された

○小児科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
森内浩幸・教授	ウイルス感染性胃腸炎に対するラクトフェリンの効果についての研究	産経新聞	2013年1月23日	ラクトフェリン含有食品またはサプリメントを摂ることによって、保育園におけるロタウイルスやノロウイルスによる胃腸炎を予防または軽症化できることを示した。

森内浩幸・教授	ダウン症薬 初の治験	読売新聞・長崎新聞	2013年6月29日・6月30日	アルツハイマー病治療薬である塩酸ドネペジルによってダウン症候群者に発症する急激退行と呼ばれる病態を改善させることを示し、企業主導の臨床治験の実施に至った。
森内浩幸・教授	治療法ないウイルス・原虫 胎児感染 薄い関心	読売新聞	2013年7月3日	トキソプラズマ原虫やサイトメガロウイルスに妊婦が感染することで、胎児に重篤な障害が生じることと、妊娠中の生活上の注意で予防することの重要性を啓発した。
森内浩幸・教授	ラクトフェリンで抑制効果!! “ノロウイルス胃腸炎” に克つ!	日刊ゲンダイ		ラクトフェリン含有食品またはサプリメントを摂ることによって、保育園におけるノロウイルス胃腸炎を予防または軽症化できることを示した。
森内浩幸・教授	認知症薬で治療開始	朝日新聞	2013年10月19日	アルツハイマー病治療薬である塩酸ドネペジルによってダウン症候群者に発症する急激退行と呼ばれる病態を改善させることを示し、企業主導の臨床治験の実施に至った。
森内浩幸・教授	ノロウイルス対策とラクトフェリン	朝日新聞広告	2013年12月4日	ラクトフェリン含有食品またはサプリメントを摂ることによって、保育園におけるノロウイルス胃腸炎を予防または軽症化できることを示した。

○外科学第一

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
永安 武・教授	RYOMA プロジェクト 若手外科医を育てる 取り組みに密着	KTN スーパーニュース	2013年 2月6日	長崎大学腫瘍外科が主催する若手外科医師を育成・獲得するための医学生・研修医を対象とした独自の取り組み（RYOMA プロジェクト）を取材された。腫瘍外科後期修練医も密着取材。
土谷智史・講師 日高重和・講師 松本桂太郎・助教 高木克典・助教 他	平成 25 年度長崎ペー ロン選手権大会 参加	長崎新聞	2013年 7月28日	長崎大学病院第一外科初出場について掲載された。
土谷智史・講師 日高重和・講師 松本桂太郎・助教 高木克典・助教 他	平成 25 年度長崎ペー ロン選手権大会 参加	NBC ペーロン大会 特集“ガムシャ ラに漕げ”	2013年 8月4日	腫瘍外科若手職員、研修医、医学部ラグビー部合同のペーロン大会への初参加。市民活動への交流と日頃の仕事への情熱が取材された。

○外科学第二

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
江口 晋・教授 藤田 文彦・講師	ブラックジャックセ ミナーについて	長崎県医師会 報	2013年 1月号	ブラックジャックセミナーは小中学生などに実際の医療を体験してもらい、外科治療、医療の大切さを模擬体験してもらおうという趣旨の元、2005年に長崎で初めて開催され、全国に広がっていったという紹介をし、これまでの実績を示した。
黒木 保・准教授	からだにやさしい鏡	KTN	2013年	膵臓の手術は通常お腹に大きな傷がつ

	視下手術・腹腔鏡下膝手術	週刊健康マガジン	7月12日	くが、美容上の問題のみならず、傷の痛みや、痛みが引き起こす色々な合併症の原因となるので、大きな傷を作らずに手術できる腹腔鏡下手術を紹介した。
江口 晋・教授	細胞シートによる再生医療実現プロジェクト	NHK 見んと！長崎	2013年7月16日	東京女子医科大学で作製した細胞シートを早期食道がんの患者に移植する再生医療手術が長崎大学病院で7/12に行われたことについての報道。江口教授が手術について説明した。
江口 晋・教授	再生医療に成功 細胞シート空輸し移植	長崎新聞	2013年7月17日	東京女子医科大学で作製した細胞シートを空輸し、がん切除後の部分に移植する再生医療に長崎大学病院が成功し、地方でも先進的な再生医療を受けられる可能性が広がったことを説明した。
江口 晋・教授	長崎大学病院 細胞シート空輸し移植	毎日新聞	2013年7月17日	東京女子医科大学で作製した細胞シートを空輸し、がん切除後の部分に移植する再生医療に長崎大学病院が成功し、地方でも先進的な再生医療を受けられる可能性が広がったことを説明した。
江口 晋・教授	細胞シート空輸し移植 再生医療、地方でも	日本経済新聞	2013年7月17日	東京女子医科大学で作製した細胞シートを空輸し、がん切除後の部分に移植する再生医療に長崎大学病院が成功し、地方でも先進的な再生医療を受けられる可能性が広がったことを説明した。
藤田 文彦・講師	からだにやさしい鏡視下手術・大腸がんに対する腹腔鏡下手術	KTN 週刊健康マガジン	2013年7月19日	大腸がんに対する腹腔鏡下手術法の紹介。創が小さい、痛みが少ない、回復が早いなどの長所がある一方、術者のトレーニングが必要、開腹手術よりも手術時間が長いなどの短所も説明し、実際に手術を受ける時には、術者の説明を良く聞き、手術法を選ぶ必要があることを説明した。
江口 晋・教授	細胞シートによる再生医療実現プロジェクト	NBC 報道センター	2013年9月13日	長崎大学病院で7/12に行われた早期食道がん患者に対する細胞シート移植手術についての説明や患者のその後の経過についての報道。
藤田 文彦・講師	ブラックジャックセミナー	長崎新聞	2013年12月2日	外科医の魅力を紹介する移植・消化器外科主催の「ブラックジャックセミナー」が12/1に開催され、長崎市内の女子小中学生42名が、手術や救急医療に挑戦したことを紹介し、体験した中学生のコメントも掲載された。

○皮膚科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
鍛塚 大・助教	ひふの日に寄せて ニキビについてー医療機関で適切な治療をー	長崎新聞	2013年10月21日	「ひふの日」の市民公開講座の講演について紹介された。

○耳鼻咽喉科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
------	------	-------	-------	----------------

高橋晴雄・教授	小児急性中耳炎診療ガイドライン 2013 年版-概要	DVD	2013 年 7 月	小児急性中耳炎診療ガイドライン 2013 年版-概要について、説明を行った。
高橋晴雄・教授	耳の日公開講座・相談会	朝日新聞社	2013 年 3 月	耳の日公開講座・相談会について案内を行った。
高橋晴雄・教授	耳の日公開講座・相談会	西日本新聞社	2013 年 3 月	耳の日公開講座・相談会について案内を行った。
高橋晴雄・教授	耳の日公開講座・相談会	KTN テレビ長崎	2013 年 3 月	耳の日公開講座・相談会について案内を行った。また、当日の公開講座&相談会の様子が夕方ニュース報道で行われた。
高野 篤・講師	今年の花粉症の動向について	KTN スーパーニュース	2013 年 2 月 1 日	今年の花粉症の動向について解説を行った。
高野 篤・講師	花粉症について①	週刊健康マガジン	2013 年 3 月 1 日	花粉症について解説を行った。
高野 篤・講師	花粉症について②	週刊健康マガジン	2013 年 3 月 8 日	花粉症の予防、治療について解説を行った。

○産科婦人科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
増崎英明・教授	講演会の告知	西日本新聞	2013.2.26	出生前診断について
増崎英明・教授	講演会の告知	毎日新聞	2013.2.26	出生前診断について
増崎英明・教授	紹介	長崎新聞	2013.2.28	出生前診断について
増崎英明・教授	著書の告知	長崎新聞	2013.3.25	エッセー
増崎英明・教授	紹介	長崎新聞	2013.4.2	出生前診断について
増崎英明・教授	紹介	長崎新聞	2013.5.10	出生前診断について
増崎英明・教授	紹介	AREA	2013.5.6-10	出生前診断について
増崎英明・教授	紹介	長崎新聞	2013.9.2	出生前診断について
増崎英明・教授	紹介	CREA	2013.11 月	生殖について
増崎英明・教授	紹介	西日本新聞	2013.11.15	産科医療の現状について
増崎英明・教授	紹介	西日本新聞	2013. 11. 20	産科医療の現状について

○臨床検査医学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
柳原克紀・教授	働く人とそのご家族のための健康講座	日本経済新聞	2013 年 11 月 24 日	予防接種、早期治療で拡大を防ぐ

○臨床腫瘍学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
芦澤和人・教授	特集「がん告知されたら・・・」	NBC 長崎放送「あっ!ぶる」	2013 年 6 月 28 日	がん医療に関する社会的啓蒙

○光学医療診療部

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
------	------	-------	-------	----------------

磯本 一・准教授 山口直之・助教	手術数でわかるいい病院 食道がん内視鏡治療	週刊朝 MOOK	2013年 3月10日	食道がん内視鏡治療が全国でトップレベルの評価 (23位)
磯本 一・准教授	ヘリコバクター・ピロリ感染症	ラジオ NIKKEI	2013年 4月17日	医療専門番組「感染症 TODAY」に出演。
山口直之・助教	早期食道癌・早期胃癌の内視鏡治療	KTN	2013年 4月19日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」に出演。
山口直之・助教	再生粘膜を空輸 患者に移植	NHK	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
磯本 一・准教授 山口直之・助教	細胞シート空輸 長大病院が移植手術に成功	KTN	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
山口直之・助教	細胞シート空輸し移植 地方の再生医療に一步	長崎新聞 47NEWS	2013年 7月16日	食道癌治療と再生医学
山口直之・助教	地方で再生医療享受 「細胞シート」空輸移植成功 細胞シート空輸し移植 世界初、消化器系手術で	長崎新聞	2013年 7月17日	細胞シート移植についての記者会見。
磯本 一・准教授	胃の中をクリーンにして胃癌予防	朝日新聞	2013年 7月27日	ピロリ菌の除菌治療について掲載された。
磯本 一・准教授	ピロリ菌とは	KTN	2013年 8月2日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」に出演。
磯本 一・准教授	ピロリ菌の除菌療法と発がん予防	KTN	2013年 8月30日	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」に出演。
山口直之・助教	食道細胞シート移植	報道特集 NBC	2013年 9月13日	食道癌治療と再生医学
磯本 一・准教授 山口直之・助教	食道がんの患部切除し「細胞シート」貼りつける 異例の「細胞」のみ空輸 地方で先進医療を受診	財界九州	2013年 10月	食道癌治療と再生医学
磯本 一・准教授	H.pylori 感染の早期診断と適切な除菌療法	大塚製薬(株) 広告	2013年 11月	ピロリ菌除菌の啓蒙

○生活習慣病予防診療部

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
川崎英二・准教授	糖尿病の治療	長崎新聞	2013年 7月15日	糖尿病の治療では、生活習慣の是正が基本であり、患者さん自身が「主治医」となって治療する意識が最も需要であると解説した。
川崎英二・准教授	県内の糖尿病療養指導を充実させるため今年 LCDE 制度の開始を目標に	Abbott Diabetes News	2013年 7月	なんでもトライする気持ちの強さがコメディカルを引っ張る力となると解説した。

○国際ヒバクシャ医療センター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
宇佐俊郎・講師	先人を訪ねて「永井隆」	読売新聞	2013年3月23日	永井隆記念国際ヒバクシャ医療センターが行っている国内外での活動を概説

○離島・へき地医療学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前田隆浩・教授	地域で医療人を育む I ～大学を出て地域で医師を育む～	Medical forum CHUGAI	2013年 Vol.17	地域医療教育を取り巻く最近の動き・地域医療教育の取組について掲載された。

○へき地病院再生支援・教育機構

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
調 漸・教授	「核廃絶へメッセージを」非核化などで意見交換	公明新聞	2013年8月7日	秋野公造参議院議員が、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)を訪れ、調漸理事(核兵器廃絶長崎連絡協議会会長)、梅林センター長等と意見交換した。
調 漸・教授	「高齢者に安心の住環境を」長崎 住宅と健康を考えるシンポジウム	長崎新聞	2013年8月13日	健康に良い住まいを考える「健康・省エネシンポジウム IN 長崎」が長崎大学医学部記念講堂で開催。和泉洋人氏(首相補佐官)の講演。
調 漸・教授	「福島の実状と課題探る」日本放射線看護学会学術集会	長崎新聞	2013年9月16日	第2回日本放射線看護学会学術集会(会長：浦田秀子長大大学院医歯薬学総合研究科教授)は、長崎原爆資料館ホールで市民講座を開き、遠藤雄幸村長(福島県川内村)等「福島の実状と課題」をテーマに講演。講演後、調漸副学長を座長に、パネルディスカッション。パネリスト：遠藤村長、中嶋由美子副院長(福島県立医科大付属病院)、高村昇教授(長大原爆後障害医療研究所)
調 漸・教授	「核弾頭しおり教育活用を」	長崎新聞	2013年10月11日	核兵器廃絶長崎連絡協議会(調漸会長)と長崎大核兵器廃絶研究センター(RECNA)は、8月作成の「世界の核弾頭データポスター」を解説したしおりを3000部作製。調会長と中村桂子准教授が、10日に市役所を訪れ、田上市長と馬場教育長に説明。今後、市を通じて市内の小中高校や公民館などに配布。
へき地病院再生支援・教育機構	「コンソーシアム」開設記念式典 地域医療の底上げを	長崎新聞	2013年11月25日	「ながさき県北地域医療教育コンソーシアム」を開設し、県北地域の5病院(柿添病院、青洲会病院、押淵病院、生月病院、平戸市民病院)で受け入れを平成26年度より開始し、より多くの研修医に県北で地域医療を学んでもらう。まずは、県北の病院に人の流れをつくり、地域医療の底上げを目指す。
へき地病院再生支援・教育機構	地域医療を学ぶ	平戸市立病院広報「竜んおとし子」	2013年1月15日	へき地研修の研修医の皆さんの声の紹介

へき地病院再生 支援・教育機構	「地域医療とケア」を 考え・体験する夏の合 宿企画	平戸市立病院 広報「竜んお とし子」	2013年 10月15日	
--------------------	---------------------------------	--------------------------	-----------------	--

○がん診療センター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
芦澤和人・教授	特集「がんと告知され たら・・・」	NBC長崎放送 「あっ!ぶる」	2013年6月 28日	がん医療に関する社会的啓蒙

○メディカル・ワークライフバランスセンター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
伊東昌子・教授	幸せとやりがいを感じる働き方を考えてみませんか？	イージェイネットメールマガジン第40号	2013.3.29	働きやすい病院の認証施設のメールマガジンで長崎大学メディカル・ワークライフバランスセンターの活動紹介をした
伊東昌子・教授	自分がこうありたいと思うことに全力で向かって行けることが幸せ	キャリアの軌跡 Vol.40	2013	長崎大学が研修医にとって魅力ある、活力ある病院であることをアピールした
伊東昌子・教授	長崎の女性医師4人による“長崎の医師でよかった”トーク	キャリアの軌跡 Vol.40	2013	長崎大学が研修医にとって魅力ある、活力ある病院であることをアピールした
伊東昌子・教授	幸せを感じる働き方を目指して	長崎新聞	2013.11.14	市民公開講座の総括。医療人のワークライフバランス確保のため、一般市民にコンビニ受診を慎むなどの理解を求めた
伊東昌子・教授	女性医師を支援する機関	NHK総合「見んと!長崎」 NHK総合「ニュース845長崎」	2013.5.30	NHK長崎放送で、メディカル・ワークライフバランスセンターの活動が紹介された。放送後に医療機関からの問い合わせがあった。